

YAMAHA Racing Jr

RACE REPORT

2016 All JAPAN KARTING CHAMPIONSHIP FS-125 class WEST SERIES ROUND 5





5/28-29 GOTENBA







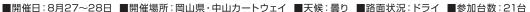








2016年 全日本カート選手権 FS-125 西地域 第5戦



全日本カート選手権西地域の最終戦となる第5戦は、8月28日岡山県の中山カートウェイで開催された。このコースはスト レートのブレーキングから急激に横Gがかかるコーナーや縁石を使い跳ねながらクリアするタイトなS字など、体力が要求さ れるレイアウトが特徴で、暑さによってドライバー、エンジン、タイヤを消耗させることなく最後まで勝負できる状態に保てる かが最大のポイントとなる。金曜日は強い日差しと猛烈な暑さにより路面温度が上昇し、ハイグリップタイヤのゴムが路面に 乗り始めたが、最終セッションの突然の豪雨でゴムが流され路面がリセットされた。土曜日は晴れたものの暑さは落ち着き、 日曜日は曇り空で涼しく、夏の全日本レースとしては異例のコンディションとなった。タイムトライアルで第2グループの酒井 は公式練習でタイムトライアルのシミュレーションを行い、セッションが始まるとすぐさまコースに入り新品タイヤの表面に熱 を入れてグリップ力を高めた。混雑する前にアタックする作戦で、狙っていたドライバーがコースインするとすぐに後ろに付い て何度もアタック、途中他車が割って入るシーンもあったが、少し間隔を取りながらラインをトレースし粘り強く走行した。結 果は30秒921でグループ6位。路面コンディションの影響で第1グループのタイムが速かったため総合では15位となった。



YAMAHA Racing Jr

ヤマハレーシングのジュニアチームとして全日本カート選手権 FS-125部門の選手サポートを行うことにしました。本年は同 西地域に参戦する酒井夢良選手のサポートを行います。

尚、当プロジェクトは、サポートするチームは固定せず選手に 対するサポートとし、毎年ヤマハが支援する選手を選考します。

監	督 高	橋 和則	
アドバイザ	— 1Ł	條 裕	
ドライバ	一酒	井 夢良	



YAMAHA Racing Jr

RACE REPORT

2016 All JAPAN KARTING CHAMPIONSHIP FS-125 class WEST SERIES ROUND 5





第5戦 タイムトライアル: 15位 予選: 12位 決勝: 10位

予選ヒート(17周)

17周の予選ヒートでは、スタート直後の2コーナーで他車と接触しながら立 ち上がりポジションを落としたが、その後着実に追い上げ始めた。「マシンの調 子が非常に良かった」という酒井は、2コーナーを中心に前車を次々にオーバー テイクし順位を取り戻すと、更に3台を抜いて12位でフィニッシュした。

決勝ヒート (30周)

決勝ヒートのスタートはアウト側グリッドとなった。タイトな最終コーナーで ローリング中にも駆け引きが行われる中、酒井はスタートで少し出遅れたもの のポジションをキープした。

決勝でも2コーナーで1台をパス、前でバトルが起きた際もインサイドをキー プしてポジションアップした。30周というロングランで、終盤まで第2集団の中 で前車にくらいつきながら10位でフィニッシュした。

2016年 全日本カート選手権 FS-125 西地域 第5戦 リザルト (21台)

	10	13	酒井 夢良	YAMAHA Racing Jr	30
	2	23	上田 裕也	NEXT-ONE Racing	30
	1	15	小出 峻	HRS JAPAN	30
Р	os.	No.	Driver	Team	Lap

高橋 和則 監督

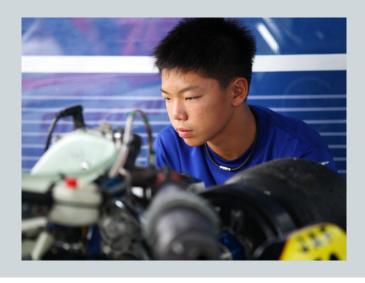


一ヶ月前の練習で良いタイムが出て手応えを掴んでいたのですが、レースウィークでは迷いが出てしまいました。練習走行のイ メージを煮詰めて臨めば他のドライバーのラインなど関係ないのに、気にして調子が崩れた感じです。自分が速いという自信を 持てばセットに対しても意見が言えるようになります。今は迷いで霧の中にいるような状態でしょうが、一人で考える時間も必要 ですし、プレッシャーも乗り越えてこそ成長するものです。

最終戦では順位に拘らず、今年一年で覚えたことを出し切り、満足いくレースをしてほしい。がむしゃらなパワーある走りを見 せて、自分との勝負に勝ってもらいたいですね。

酒井 夢良 /Yura SAKAI

AGE:14



今回は以前のレースビデオを分析し、晴・雨共に自分 なりの改善点を持って臨みました。

練習ではラインが定まらずタイムが出なかったのです が、予選で2コーナーでパッシングするまでの流れを最 終コーナーから意識した結果、抜くことに自信が付きま した。マシンの調子も良かったし決勝はスタートがチャ ンスだと思っていたのに、アクセルを踏み切れなかった のが悔しいです。あそこで抜けていれば流れに乗れてい たと思います。

レースウィークの練習の組み立て方、セットに対して自 分の意見を出すことなど課題が多いのですが、 次回が最後なので、もっと貪欲に本気になって考えて、 表彰台の一番高い所を目指して全力で走りたいです。